

- 3 豊かな心を育む
人づくりの推進**

 - 赤崎中学校と綾里中学校の統合による東朋中学校のスクールバスの運行
 - 第一中学校の校舎および屋内運動場の改築工事に着手
 - GIGAスクール構想の実現に向け、指導者用デジタル教科書を整備するなど、学校におけるICT環境の充実に向けた取り組みを推進
 - 学校給食施設の集約化や調理業務の民間委託を推進
 - IT講座、英会話講座、青少年体験学習などの開催による多様な学習機会の充実
 - 市民文化会館の長寿命化と機能の維持向上を図るため、舞台音響設備などを更新
 - 市立図書館にICTタグやセルフ貸出などのICT機器を導入
 - 赤崎グラウンドを核としてスポーツ合宿やイベントの誘致などを推進
 - 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて、米国を相手国とする【復興「ありがとう」ホストタウン事業】を展開

4 潤いに満ちた快適な生活環境の創造

 - 大船渡駅周辺地区の未利用地の情報発信と産業集積に係る特区制度を活用し、エリア内の土地利用を促進
 - 市道市役所庁舎前線の整備をはじめ、田茂山佐野線などの道路施設修繕、関谷轆轤石線の整備などを推進
 - 上水道における未給水地域の解消や高台などにおける水压不足対策としての施設整備、施設の老朽化対策などを実施
 - 令和3年4月から水道の料金を改定
 - 空き家を活用する場合の改修や、周辺に悪影響を及ぼしている管理不全な空き



赤崎グラウンドを核にスポーツ合宿の誘致

- 5 やすらぎある安全なまちづくりの推進**

 - 東日本大震災の経験や教訓の伝承など、市全体で多面的に学べる防災学習ネットワークを構築
 - 豪雨による洪水や土砂災害に備え、水害を想定した防災訓練を実施

6 自然豊かな環境の保全と創造

 - 老朽化した消防屯所の建て替えなどを計画的に実施
 - 大船渡市消費生活センターにおける的確な啓発活動と相談体制の充実
 - 三陸沿岸道路の令和3年度中の全線開通、国道107号の改良整備の事業化、国道397号・343号、主要地方道大船渡広田陸前高田線、大船渡綾里三陸線などの改良整備に係る国・県への働きかけを実施
 - スクールバスなど既存の交通資源の有効活用も含めた新たな地域公共交通計画を策定
 - デマンド交通やタクシースタンド配布の実証実験を継続して実施



市内を進む下水道工事

- 7 新たな時代を切り拓く行政経営の確立**

 - 市広報紙やSNSなどによる情報発信に加え、新たな広報媒体やツールの活用を図りながら、積極的かつ迅速に行政情報を発信
 - 大船渡市総合計画の進捗を適切に管理し、施策の達成状況などについて外部委員による評価を導入
 - 庁内の組織体制として、災害復興局を廃止し、本格的な地方創生に対応するため、企画・市民協働・ICT・社会福祉・交流部門のほか、内部統制のさらなる適正化を図るため、契約・上下水道部門などを強化
 - 人事給与、財務会計、庶務事務などの内部情報システムのクラウド化に着手し、行政のデジタル化を推進
 - 各種納税・納入金のコンビニエンスストアでの納付やクレジットカード収納のほか、新たにスマートフォンアプリケーションによる決済を導入
 - 住田町との間で締結した定住自立圏形成協定に基づく、定住自立圏共生ビジョンに位置付ける取り組みを推進

2 安心が確保されたまちづくりの推進

 - 地区の将来像や振興策をまとめた地区づくり計画の作成、身近な生活課題などを解決する地区運営組織の構築に向けた取り組みを促進
 - 地区づくり交付金制度を創設し、地区運営組織による

令和3年度施政方針

令和3年2月17日から3月16日まで、令和3年市議会第1回定例会が開かれました。初日の本会議の冒頭に行われた令和3年度施政方針演述の中で戸田公明市長は、令和3年度は、東日本大震災からの復旧・復興を経て、新たなまちづくりへの第一歩となる大きな節目の年として、コロナ禍の難局に市民一丸となって立ち向かいながら、新たな将来都市像「ともに創る やすらぎに包まれ 活気あふれる 三陸のにぎわい拠点 大船渡」の実現に向け、全身全霊、積極果敢に取り組むと述べました。

以下、施政方針演述の中から、令和3年度の主な取り組みについて、大船渡市総合計画の大綱別にお知らせします。

1 豊かな市民生活を 実現する産業の振興

○国際リニアコライダーの誘致・実現を図るため、国内外の関係機関、関係者への働きかけへの参画や、ILCアクションプランに基づく各種取り組みを推進



- 漁業経営の安定のため、新たな養殖種の導入に向けた検討や具体的な実証試験などへの支援を実施
- 漁業生産・活動に大きな妨げとなる海洋ごみの除去を行う漁場環境保全事業の実施
- 水産加工・流通機能の強化のため、新たに加工原魚転換支援事業を実施
- 漁業の基盤整備として、蛸

ノ浦漁港の船揚場の整備を継続するとともに、泊里漁港の南防波堤の延伸事業と吉浜漁港関連道舗装工事に着手

○令和4年度を初年度とする第7次大船渡市農業振興基本計画を策定

○就農相談会への参画や新規就農者への給付金による支援などにより、担い手の育成・確保の取り組みを推進

○令和4年3月に開催予定の「全国椿サミット大船渡大会」における積極的な情報発信と多彩なイベントの実施

○森林資源情報を把握するため、航空レーザー計測と森林所有者に対する意向調査を実施

- シカ、サルなどの鳥獣被害対策として、防護網に加え、新たに電気柵の購入を支援
- 勤労者福祉を推進するため、新たに新型コロナウィルス対応勤労者生活資金を創設
- 広域観光PR動画の作成、さかなグルメの普及による食の魅力向上など、交流人口の拡大に向けた取り組みを推進
- 移住希望者などに対する仕

事や住まい、生活などの総合的な情報の提供や、相談体制の充実の取り組みを推進

○三陸マリアージュ創出・展開事業、地場産業高度化・人材育成事業、夏イチゴ産地化事業などを実施し、販路の開拓をはじめ、ICT人材の育成、体験型観光の創出などに向けた取り組みを推進



夏イチゴ産地化事業を実施します

- 地区の将来像や振興策をまとめた地区づくり計画の作成、身近な生活課題などを解決する地区運営組織の構築に向けた取り組みを促進
- 地区づくり交付金制度を創設し、地区運営組織による

地区づくり計画の活動実践を支援

○リーダーの育成、ワーク・ライフ・バランスの実現など、女性の活躍を促進する取り組みを推進

○結婚相談・支援や、共通の趣味などで交流する社会人サークル活動を通じた気軽な出会いの場の創出などを実施

○産後の初期段階における母子への支援を強化するため、新たに産婦への健康診査費用の助成を実施

○新たに、妊娠・出産・子育てに関する記録管理や情報配信をスマートフォンなどの子育て支援アプリケーションを活用して実施

○新たに越喜来小学校区において放課後児童クラブを開

- 被災者が地域で安心して生活できるよう支援するグループケア・セミナーを開催するなど、心のケアに向けた取り組みを推進
- 地区版の地域助け合い協議会と連携し、住民が主体となって実施する高齢者の生活支援（こみ出し支援など）の取り組みを推進